

主催:独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会共催:経済産業省 後援 (予定):サイバーセキュリティ戦略本部、文部科学省、デジタル庁

お問い合わせ:IPAセキュリティ・キャンプ事務局(独立行政法人情報処理推進機構)

⊠ iac-camp@ipa.go.jp

イベント情報 ▶ https://www.ipa.go.jp/jinzai/security-camp/index.html

# SECURITY CAMP 2026 コネクトとは

セキュリティ以外の分野を専門とする学生を対象に、セキュリティの考え方や視点に触れる機会を提供する合宿形式のイベントです。 異なる分野のバックグラウンドを持つ受講者が、セキュリティ的な視点を身につけることで、従来の枠にとらわれない新しいセキュリ ティ人材層の発掘・育成を行います。

### クラス一覧



## 法律×セキュリティ

受講生にサイバーセキュリティに強い法律家を目指してもらうべく、サイバー セキュリティ関連で法律専門家がどのように対応するのかの観点で講義を 行います。

具体的には、サイバーインシデント演習やサイバー関連の法律相談 / 交渉 のロールプレイ、および個人ごとにテーマを設定しての個別リサーチに取り 組みます。講義を通じて法律専門家からの助言を得ながら取り組むことで、 将来の活躍や継続調査すべきテーマについての気付きを得られます。



## 門間 デバイス×セキュリティ

自作キーボードを題材に『攻撃・防御・ものづくり』の3つを同時に学び ます。セキュリティといえば攻撃と防御の二項対立で語られがちですが、 その根底にはやはりものを作る人がいます。

本講義では簡単なキーボードとそのファームウェアを開発しつつそのキー ボードへの攻撃や防御を通して、攻撃側・作り手側・防御側の考えを学び ます。



## 一 脅威 ×セキュリティ

最新の脅威に対抗するために、どのように脅威を捉えればセキュリティ対 策/対応を可能となるのかをテーマに講義を行います。

脅威情報の収集方法や脅威自体の理解(攻撃者の理解)を深められるよ うな観点について学ぶことで、受講生のみなさんがご自身の専門分野への 脅威とは何かを考えるきっかけとなればと思います。



汎用システムで生まれた技術は、数年後には IoT 分野にも広がっていきま す。しかし IoT では、限られた計算能力や電力の中で目的を達成する必要 があり、大量の計算を必要とするような領域に関しては IoT 特有の対応が 必要です。 例えば AI 分野などにおいてはエッジ AI という分野で、 IoT 特 有の進化を遂げています。

セキュリティに関してもデバイス上で採れる対策が限られることも多く、そ のような限られた計算量の世界から、新たにセキュリティに繋げていく方法 を模索します。



### OS ×セキュリティ

本クラスでは、OS に関する技術や知識を活かして、一般の方々が OS に ついて楽しく学べ、セキュリティ意識向上に繋がるような、創造的なコンテ ンツの制作に挑戦します。

OS の中身を可視化したり、ゲームにしたり、これまでにないユニークな表 現方法を模索することで、技術を伝える新たな面白さを発見し、多くの人 にその価値を届けることを目指します。



## AI ×セキュリティ

本講義では、AI セキュリティの中でも特に現実的な脅威に繋がり得る 「プロンプト・インジェクション攻撃」に焦点を当て、LLM およびそのア プリケーションを実際に堅牢化する技術を実践的に学びます。座学は 最小限に抑え、ハンズオンを通じて手を動かすことを重視。実際に脆弱 なLLMアプリケーションへのプロンプト・インジェクション攻撃を再現し、 そのメカニズムや検知・防御の仕組みを実装レベルで理解します。

## セキュリティ・キャンプコネクトプレ開催レポート

2026年3月の本開催に先駆けて実施したプレ開催に、14名が参加しました。

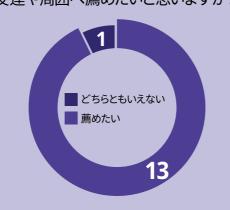
日程: 2025年9月6日(土曜日)~7日(日曜日) 会場: IPA 13階会議室(東京都文京区)

各種データ(計14名)

専門講義の満足度



セキュリティ・キャンプ 2026 コネクトを 友達や周囲へ薦めたいと思いますか?



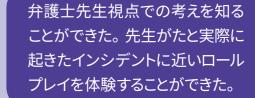
### 参加者の感想

実際に CTF 形式で攻撃し防御す るという体験ができ、座学で知識 だけ学ぶよりもずっと理解するこ とができた。



IPA

AI×セキュリティ参加者





法律×セキュリティ参加者